

葛飾区中学生アンケート調査報告書

令和4年10月

葛飾区 都市整備部 都市計画課

目次

1. 調査の目的・概要	1
2. 単純集計.....	2
3. クロス集計.....	11
4. 参考資料.....	25
4-1. アンケート依頼文・調査票	25
4-2. 自由記入欄の整理.....	39

1. 調査の目的・概要

次のとおり、アンケート調査を実施した。

目的	葛飾区都市計画マスタープラン（平成 23 年 7 月）の改定に向けて、区内の公立中学校 10 校に在学する 2 年生の生徒を対象に、理想のまちの姿などについて意向を調査し、改定の検討に活用することを目的とする。
調査方法	WEB アンケート（支給 PC・タブレットを活用したオンライン調査） アンケートの URL は学校を通じて配布した案内チラシに記載
調査時期	令和 4 年 7 月 1 日～7 月 31 日
対象者	5 つの広域拠点と校区が接する公立中学校（10 校）の在学者（2 年生）：1,246 名
回収数	914 名 回収率 73.4%
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって残したい葛飾らしさ ・将来住みたい場所の条件、住みたい市区町村 ・まちづくりの目標のうち実現させたい項目 ・まちづくりの分野で重要と思うもの ・各地域の将来像に対する意見 ・都市計画やまちづくりへの関心、学びの機会 ・通っている学校
備考	回答者は、葛飾区の youtube チャンネルにアップロードした「葛飾区都市計画マスタープラン」の動画（15 分程度）を視聴してから設問に回答

また、学校ごとの配布数、回収数、回収率は以下の通りである。

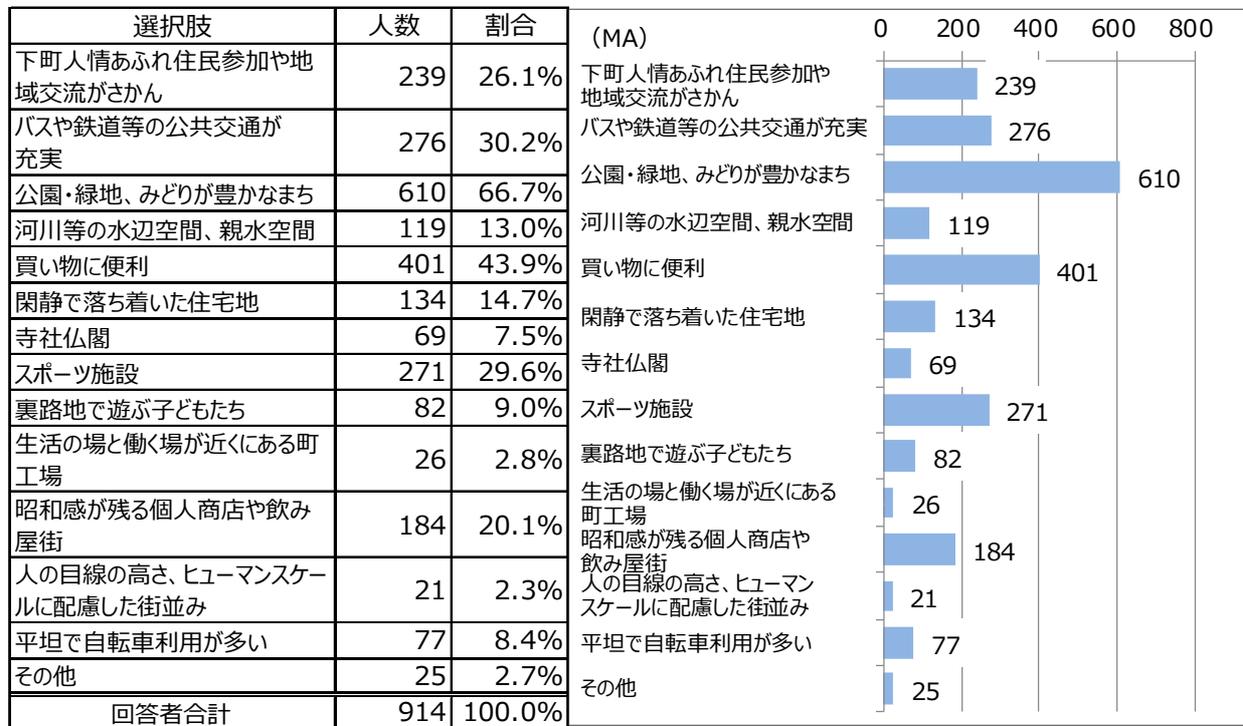
学校名	配布数 (2 年生生徒数)	回収数	回収率
金町中学校	194	145	74.7%
常盤中学校	154	144	93.5%
一之台中学校	83	71	85.5%
亀有中学校	118	91	77.1%
桜道中学校	149	100	67.1%
高砂中学校	72	57	79.2%
立石中学校	129	105	81.4%
本田中学校	113	96	85.0%
新小岩中学校	116	78	67.2%
小松中学校	118	27	22.9%
合計	1,246	914	73.4%

生徒数の出典：葛飾区資料

2. 単純集計

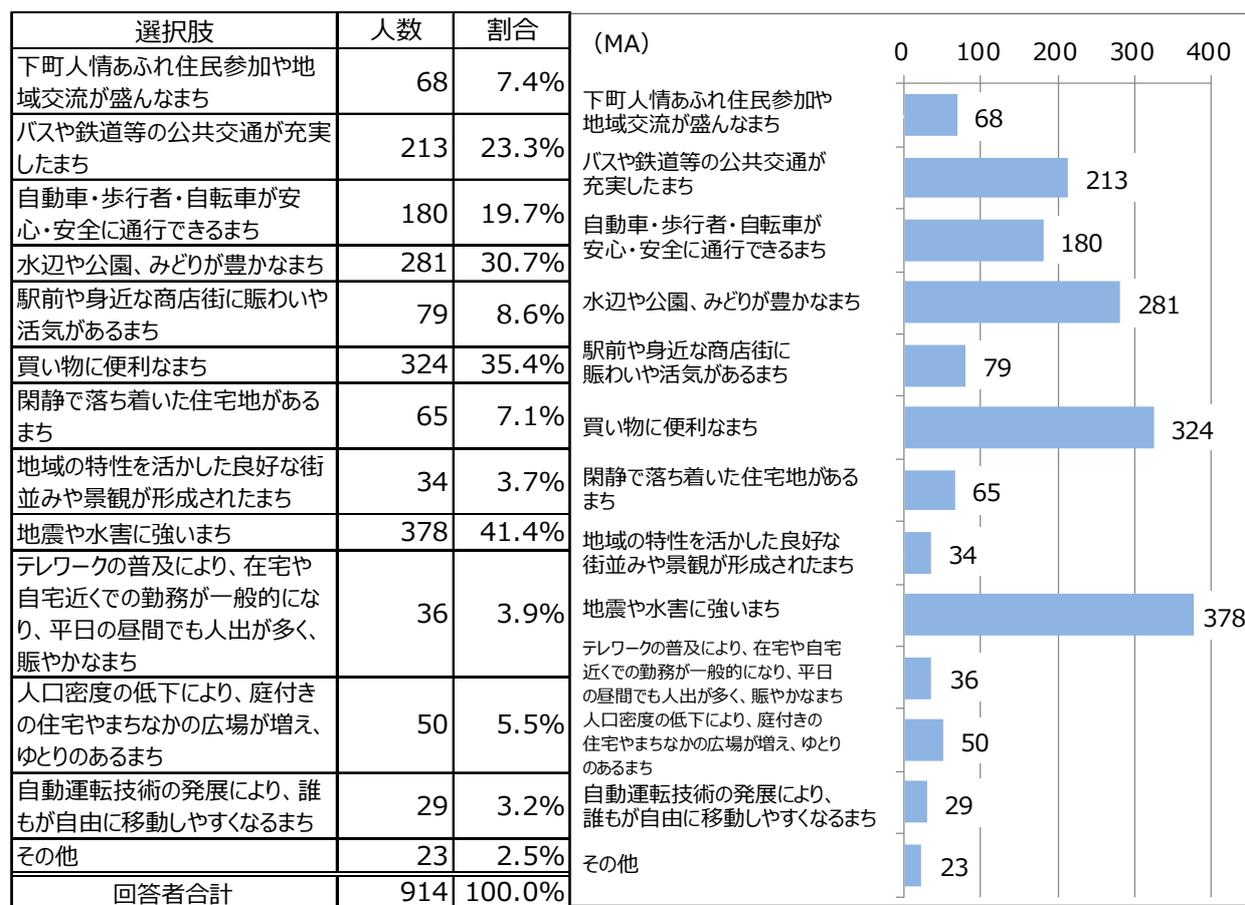
アンケートの単純集計結果は、次のとおりである。

問 1 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



○「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が 610 人（66.7%）と最も多く、次いで「買い物に便利」が 401 人（43.9%）、「バスや鉄道等の公共交通が充実」が 276 人（30.2%）となっている"

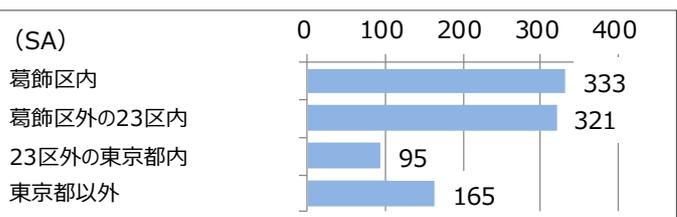
問 2 将来住みたい場所の条件（2つまで選択）



○「地震や水害に強いまち」が 378 人（41.4%）と最も多く、次いで「買い物に便利なまち」が 324 人（35.4%）、「水辺や公園、みどりが豊かなまち」が 281 人（30.7%）となっている

問3 将来住みたい市区町村（1つ選択）

選択肢	人数	割合
葛飾区内	333	36.4%
葛飾区外の23区内	321	35.1%
23区外の東京都内	95	10.4%
東京都以外	165	18.1%
回答者合計	914	100.0%



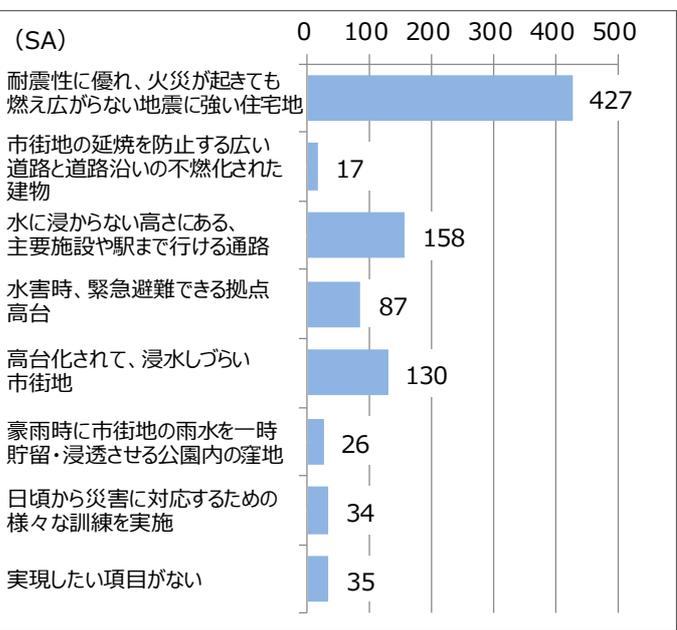
○「葛飾区内」が333人（36.4%）と最も多く、次いで「葛飾区外の23区内」が321人（35.1%）、「東京都以外」が165人（18.1%）となっている

問4 問3で回答した理由（自由記述）

※4. 参考資料に記載。

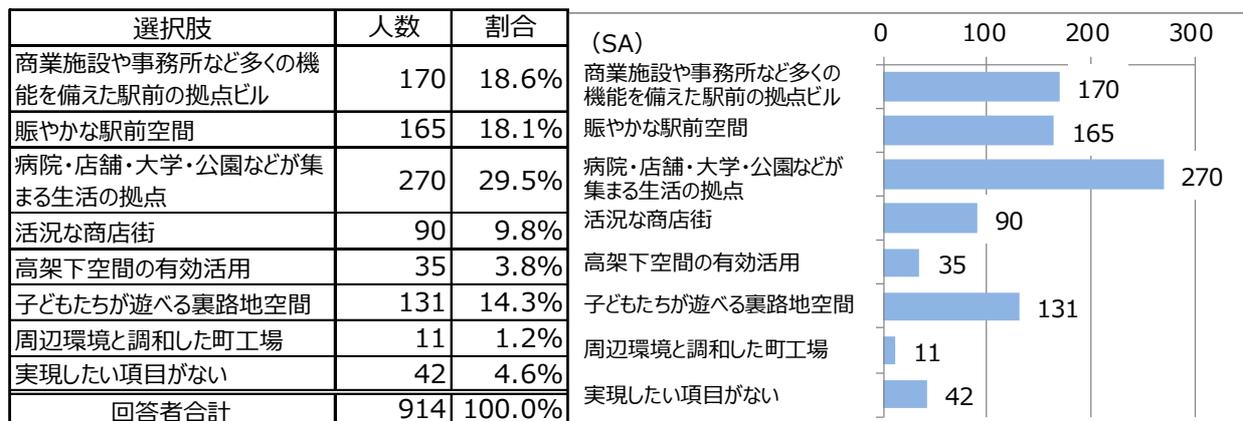
問5 まちづくりの目標1、「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）

選択肢	人数	割合
耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地	427	46.7%
市街地の延焼を防止する広い道路と道路沿いの不燃化された建物	17	1.9%
水に浸からない高さにある、主要施設や駅まで行ける通路	158	17.3%
水害時、緊急避難できる拠点高台	87	9.5%
高台化されて、浸水しづらい市街地	130	14.2%
豪雨時に市街地の雨水を一時貯留・浸透させる公園内の窪地	26	2.8%
日頃から災害に対応するための様々な訓練を実施	34	3.7%
実現したい項目がない	35	3.8%
回答者合計	914	100.0%



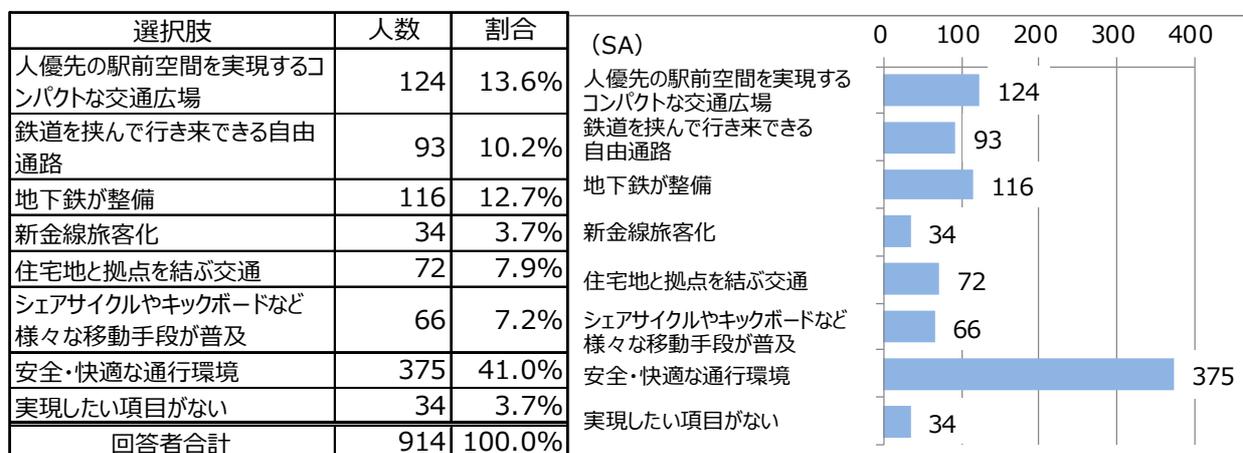
○「耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地」が427人（46.7%）と最も多く、次いで「水に浸からない高さにある、主要施設や駅まで行ける通路」が158人（17.3%）、「高台化されて、浸水しづらい市街地」が130人（14.2%）となっている

問6 まちづくりの目標2、「人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



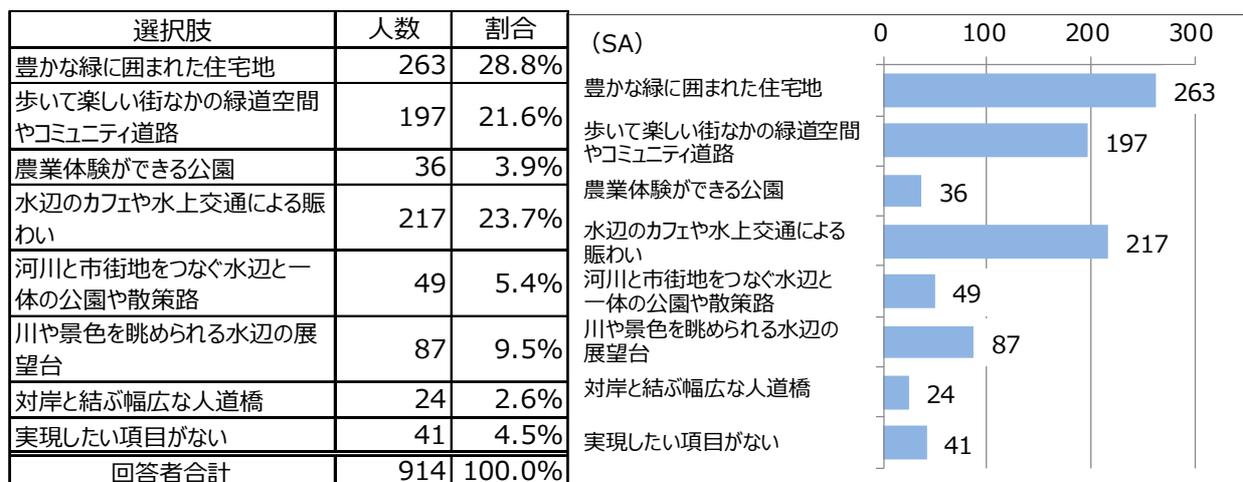
○「病院・店舗・大学・公園などが集まる生活の拠点」が270人（29.5%）と最も多く、次いで「商業施設や事務所など多くの機能を備えた駅前の拠点ビル」が170人（18.6%）、「賑やかな駅前空間」が165人（18.1%）となっている

問7 まちづくりの目標3、「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



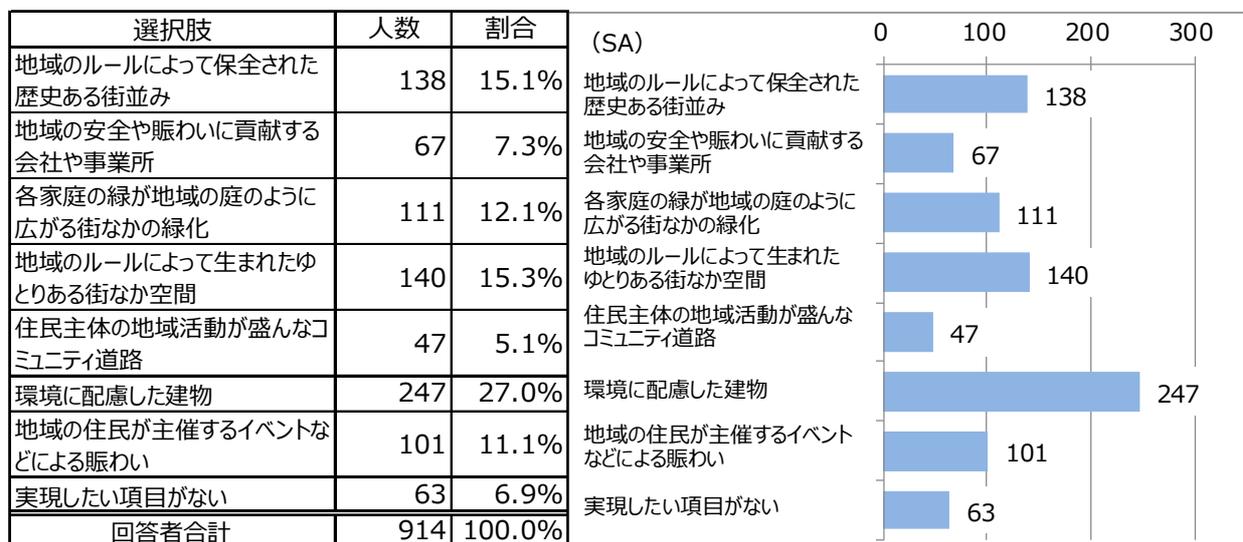
○「安全・快適な通行環境」が375人（41.0%）と最も多く、次いで「人優先の駅前空間を実現するコンパクトな交通広場」が124人（13.6%）、「地下鉄が整備」が116人（12.7%）となっている

問 8 まちづくりの目標 4、「誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



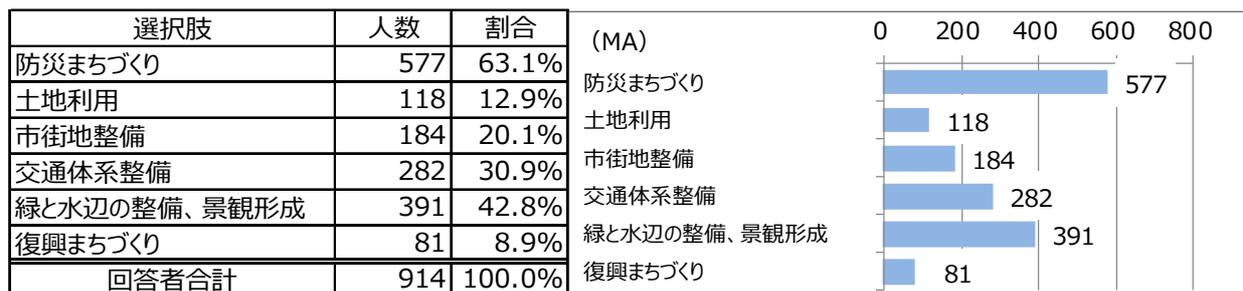
○「豊かな緑に囲まれた住宅地」が 263 人（28.8%）と最も多く、次いで「水辺のカフェや水上交通による賑わい」が 217 人（23.7%）、「歩いて楽しい街なかの緑道空間やコミュニティ道路」が 197 人（21.6%）となっている

問 9 まちづくりの目標 5、「多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



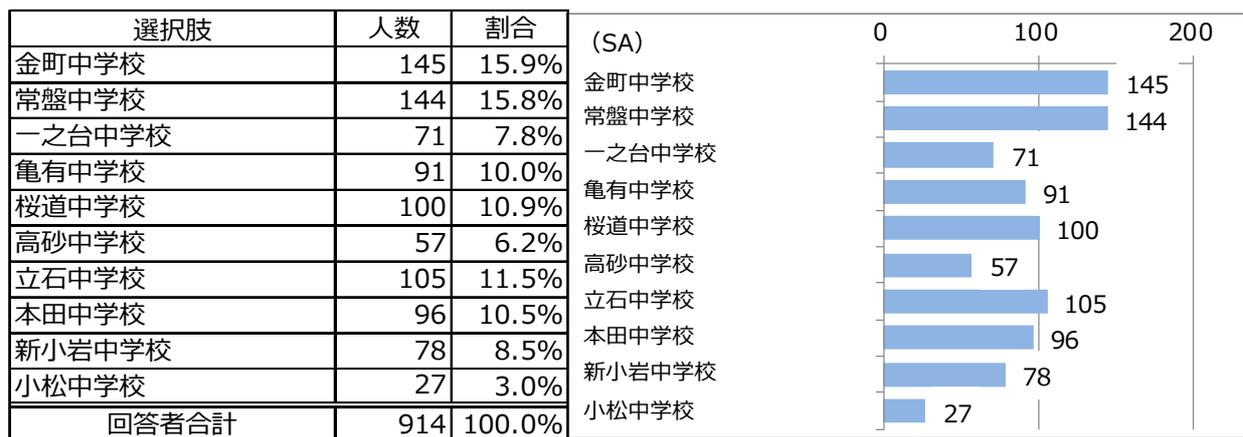
○「環境に配慮した建物」が 247 人（27.0%）と最も多く、次いで「地域のルールによって生まれたゆとりある街なか空間」が 140 人（15.3%）、「地域のルールによって保全された歴史ある街並み」が 138 人（15.1%）となっている

問 10 まちづくりの分野で重要と思うもの（2つまで選択）



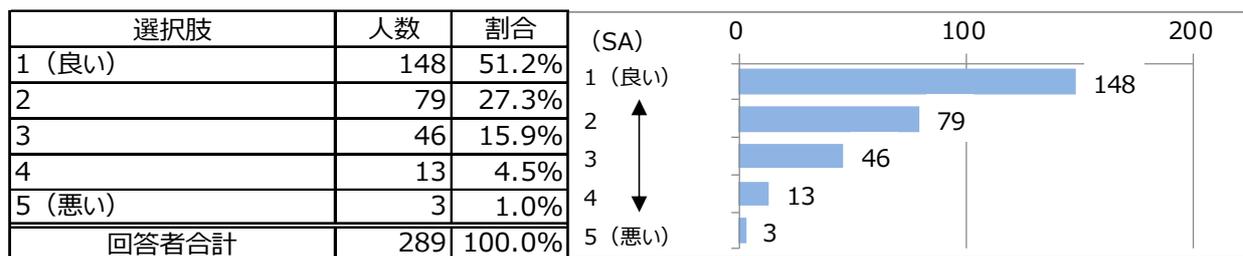
○「防災まちづくり」が 577 人（63.1%）と最も多く、次いで「緑と水辺の整備、景観形成」が 391 人（42.8%）、「交通体系整備」が 282 人（30.9%）となっている

問 11 回答者の通っている学校（1つ選択）



○「金町中学校」が 145 人（15.9%）と最も多く、次いで「常盤中学校」が 144 人（15.8%）、「立石中学校」が 105 人（11.5%）となっている

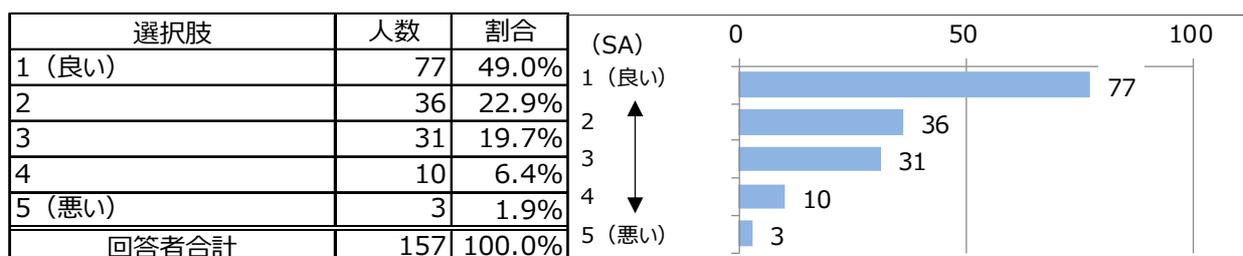
問 12-1 【水元・金町・新宿地域】 将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性が享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



○最も良い評価である「1」が 148 人 (51.2%) と最も多く、次いで「2」が 79 人 (27.3%)、「3」が 46 人 (15.9%) となっている。

※金町中学校、常盤中学校のみ回答。

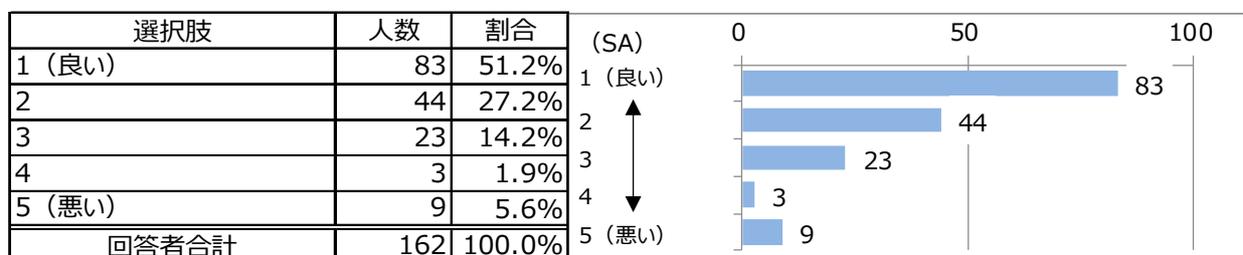
問 12-2 【柴又・高砂地域】 将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



○最も良い評価である「1」が 77 人 (49.0%) と最も多く、次いで「2」が 36 人 (22.9%)、「3」が 31 人 (19.7%) となっている。

※桜道中学校、高砂中学校のみ回答。

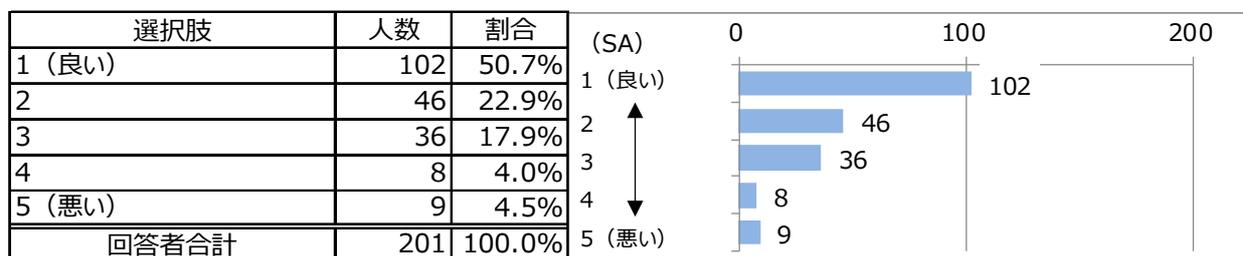
問 12-3 【亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域】 将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたいくなる、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



○最も良い評価である「1」が 83 人 (51.2%) と最も多く、次いで「2」が 44 人 (27.2%)、「3」が 23 人 (14.2%) となっている。

※一之台中学校、亀有中学校のみ回答。

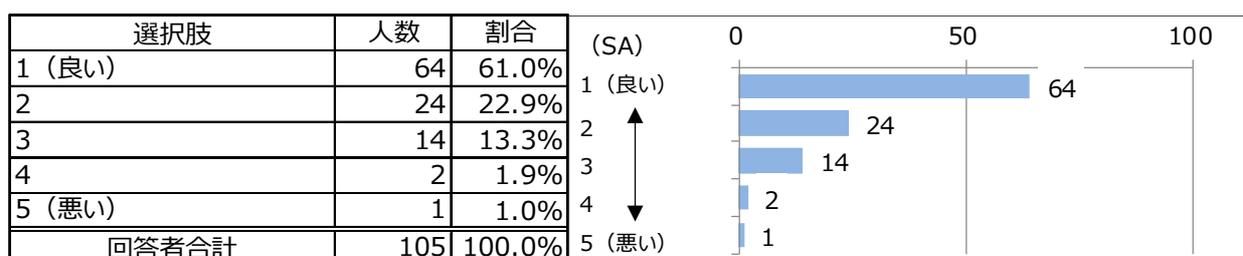
問 12-4 【青戸・立石・四つ木地域】 将来像「区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



○最も良い評価である「1」が102人（50.7%）と最も多く、次いで「2」が46人（22.9%）、「3」が36人（17.9%）となっている。

※立石中学校、本田中学校のみ回答。

問 12-5 【奥戸・新小岩地域】 将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



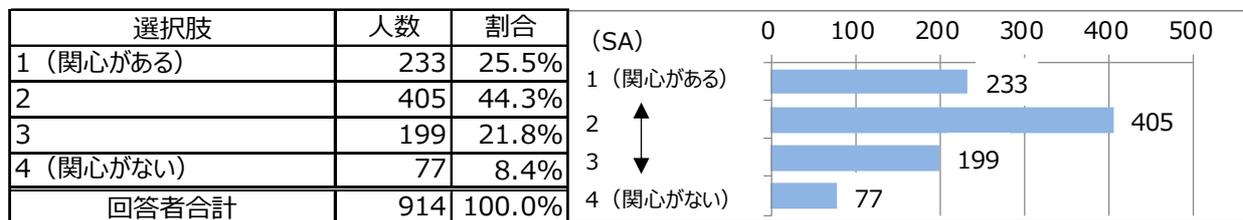
○最も良い評価である「1」が64人（61.0%）と最も多く、次いで「2」が24人（22.9%）、「3」が14人（13.3%）となっている

※新小岩中学校、小松中学校のみ回答。

問 13 問 12 で回答した理由（自由記述）

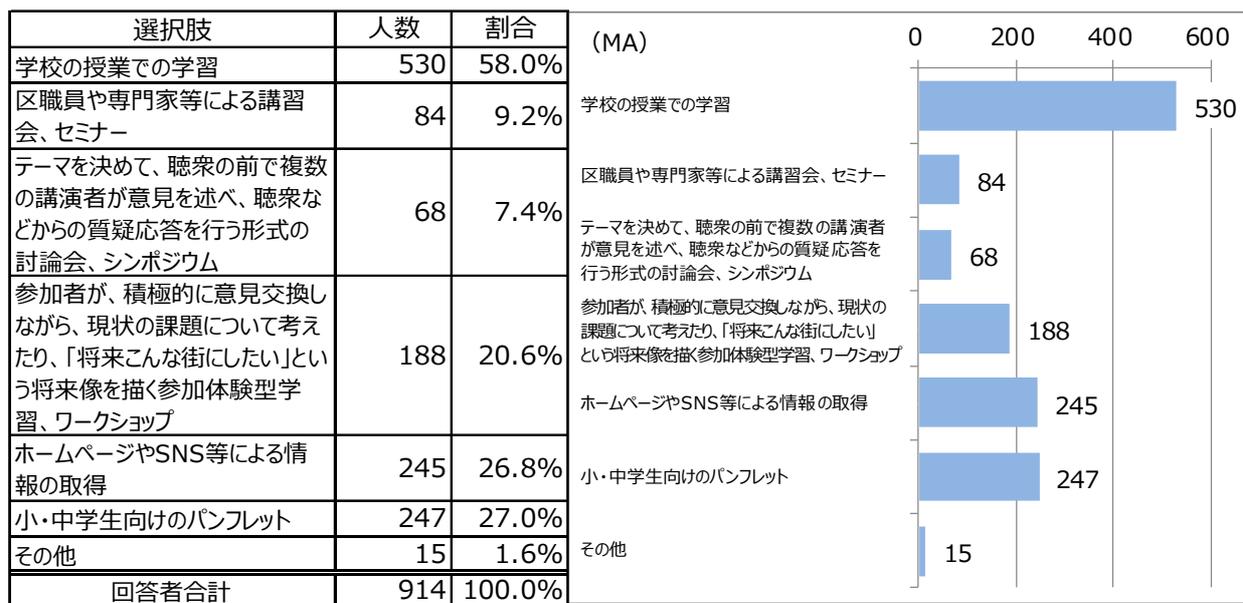
※ 4. 参考資料に記載。

問 14 都市計画やまちづくりへの関心の有無（1つ選択）



○2 番目に関心が高い「2」が 405 人(44.3%)と最も多く、次いで最も関心が高い「1」が 233 人(25.5%)、「3」が 199 人(21.8%) となっている

問 15 都市計画やまちづくりに関する学びの機会（2つまで選択）

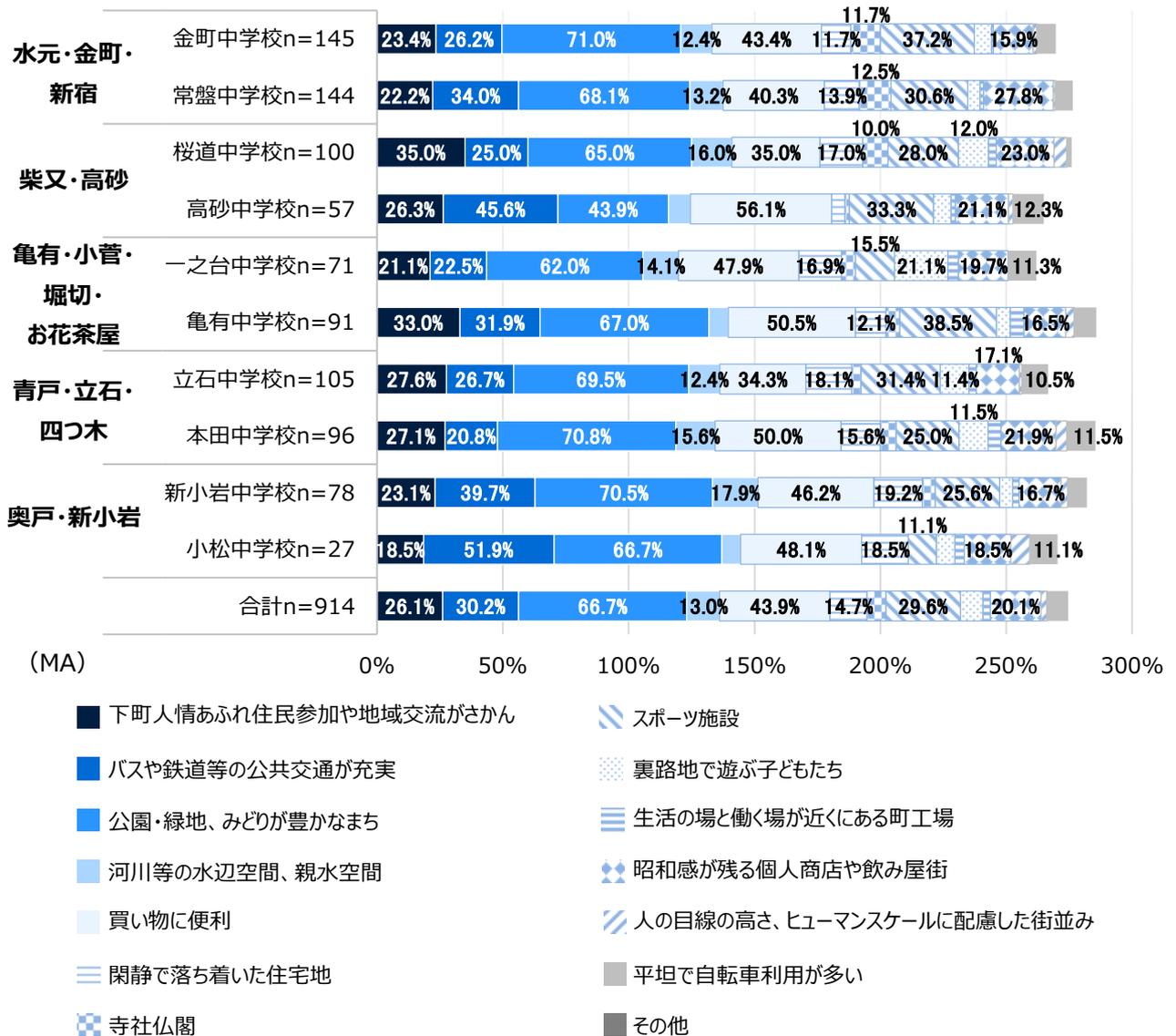


○「学校の授業での学習」が 530 人(58.0%)と最も多く、次いで「小・中学生向けのパンフレット」が 247 人(27.0%)、「ホームページや SNS 等による情報の取得」が 245 人(26.8%) となっている

3. クロス集計

学校別による傾向を分析するために、分析軸として「学校別」を設定して問1～15についてクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

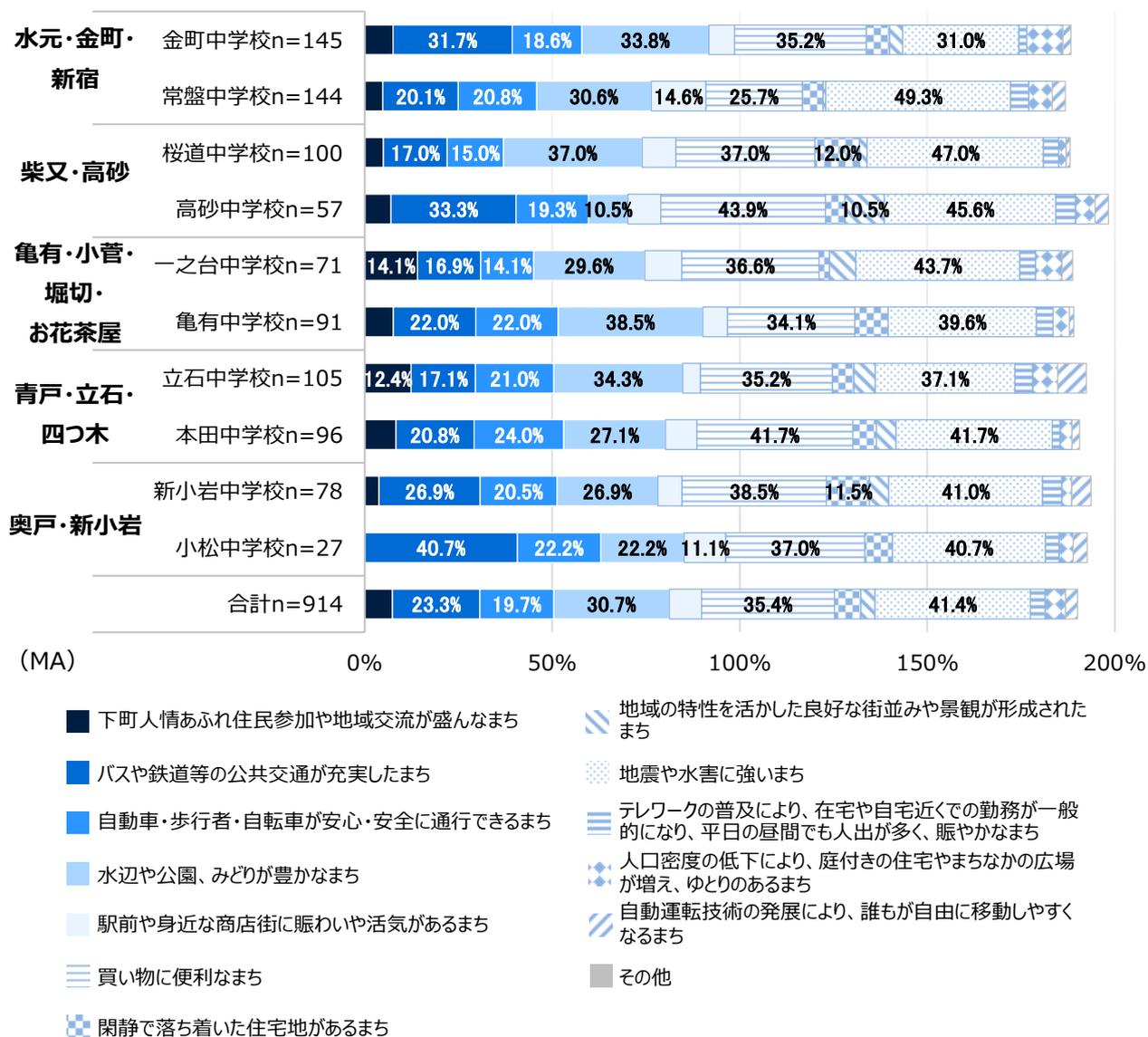
問1 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



○どの学校においても「公園・緑地、みどりが豊かなまち」を選択する生徒が多く、約4割～約7割に選ばれている。次いで「買い物に便利」を選択する生徒も多く、約3割～約6割に選ばれている。
 ○高砂中学校は「バスや鉄道等の公共交通が充実」が合計より10%以上高く、約46%となっている。また「買い物に便利」が合計より10%以上高く、約56%となっている。
 ○一之台中学校は「裏路地で遊ぶ子どもたち」が合計より10%以上高く、約21%となっている。
 ○小松中学校は「バスや鉄道等の公共交通が充実」が合計より10%以上高く、約52%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

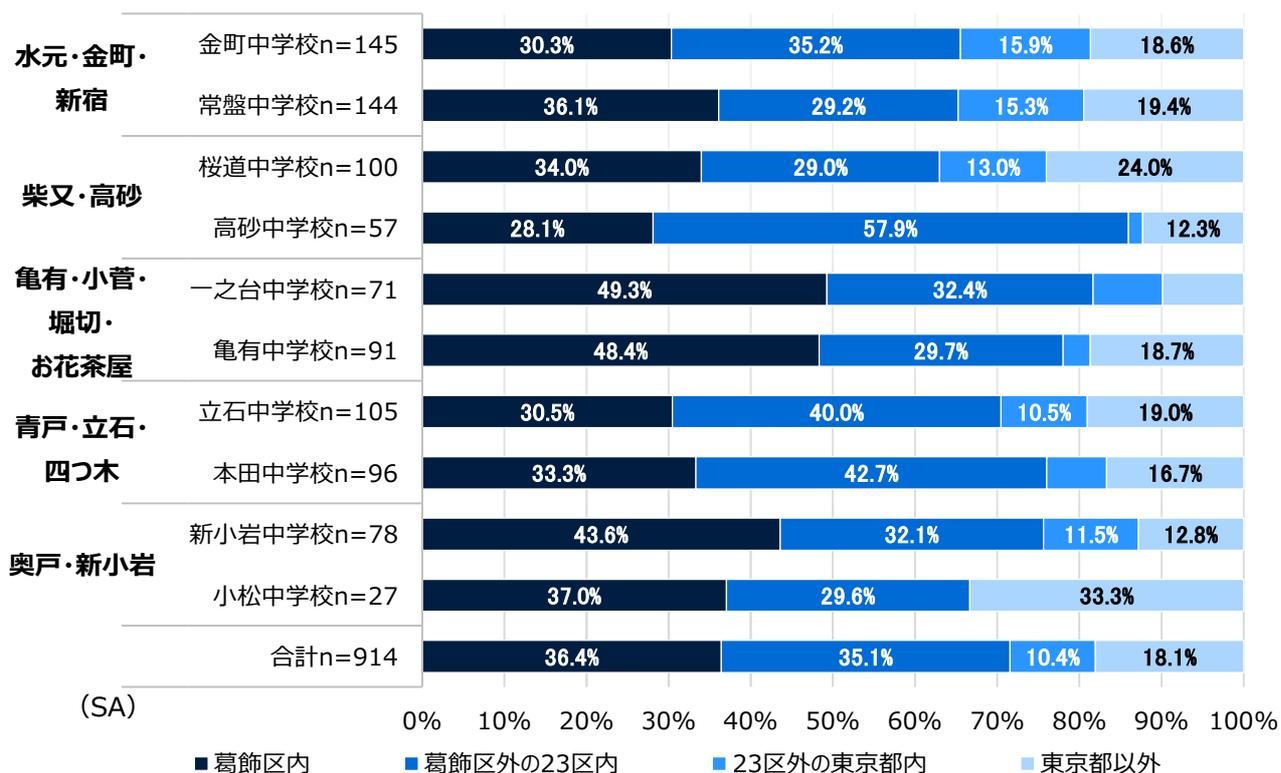
問 2 将来住みたい場所の条件（2 つまで選択）



- どの学校においても、将来住みたい場所の条件として「地震や水害に強いまち」を約3割～約5割の生徒が挙げている。同様に、「買い物に便利なまち」もすべての学校で約3割～約4割の生徒が挙げている。
- 高砂中学校は「バスや鉄道等の公共交通が充実したまち」が合計より10%以上高く、約33%となっている。
- 小松中学校は「バスや鉄道等の公共交通が充実したまち」が合計より10%以上高く、約41%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問3 将来住みたい市区町村（1つ選択）



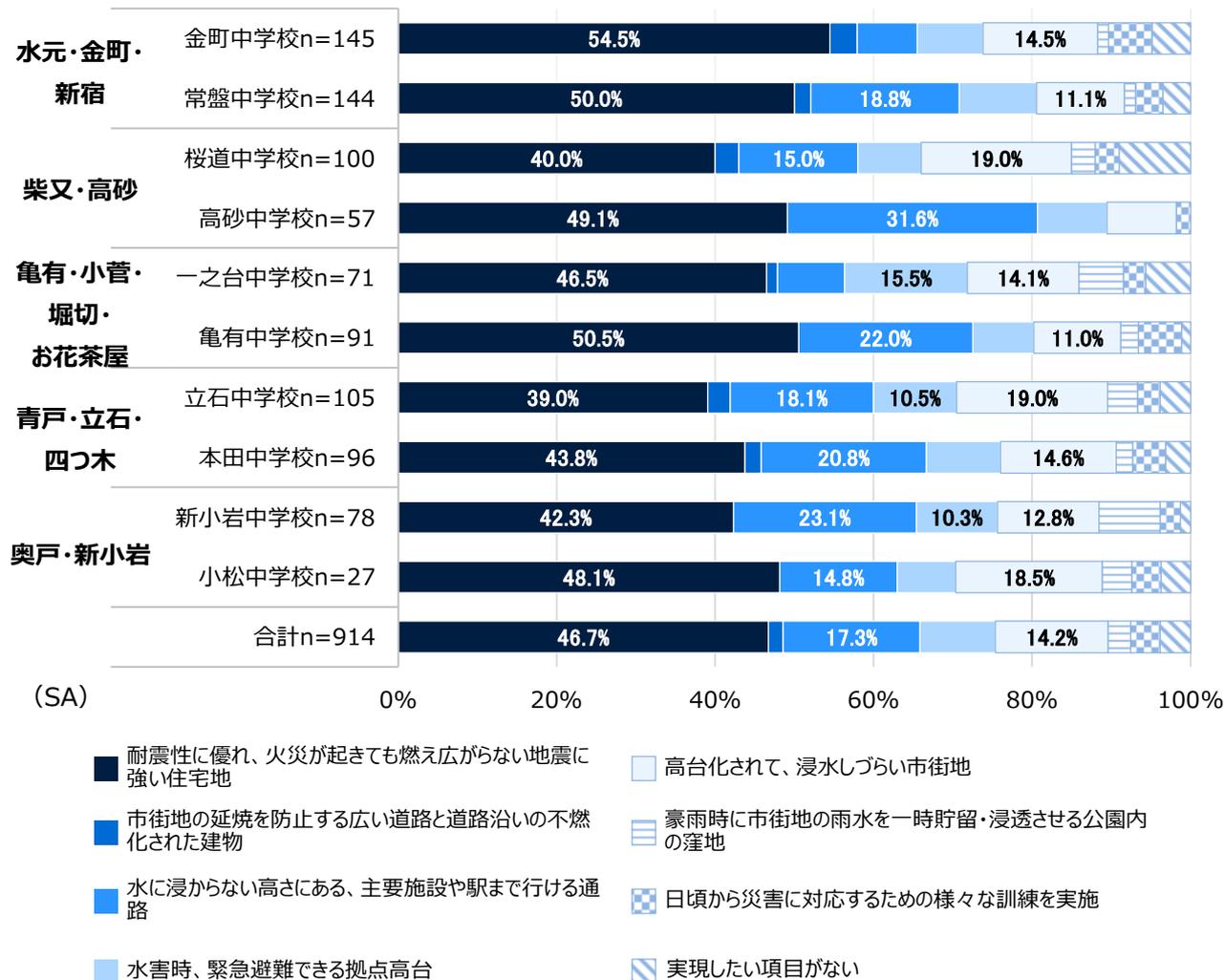
- どの学校においても、将来住みたい市区町村として「葛飾区内」を挙げる生徒は約3割～約5割となっている。特に亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の2つの中学校は約5割と高くなっている（一之台中学校は約49%、亀有中学校は約48%）。
- 一方で、どの学校においても「葛飾区外の23区内」は約3割～約6割となっており、「葛飾区内」と同程度またはそれ以上の割合となっている。特に高砂中学校は約58%と高くなっている。
- 「東京都以外」を挙げる割合はどの学校においても基本的に約2割未満であるが、小松中学校のみ約33%と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問4 問3で回答した理由（自由記述）

※4. 参考資料に記載。

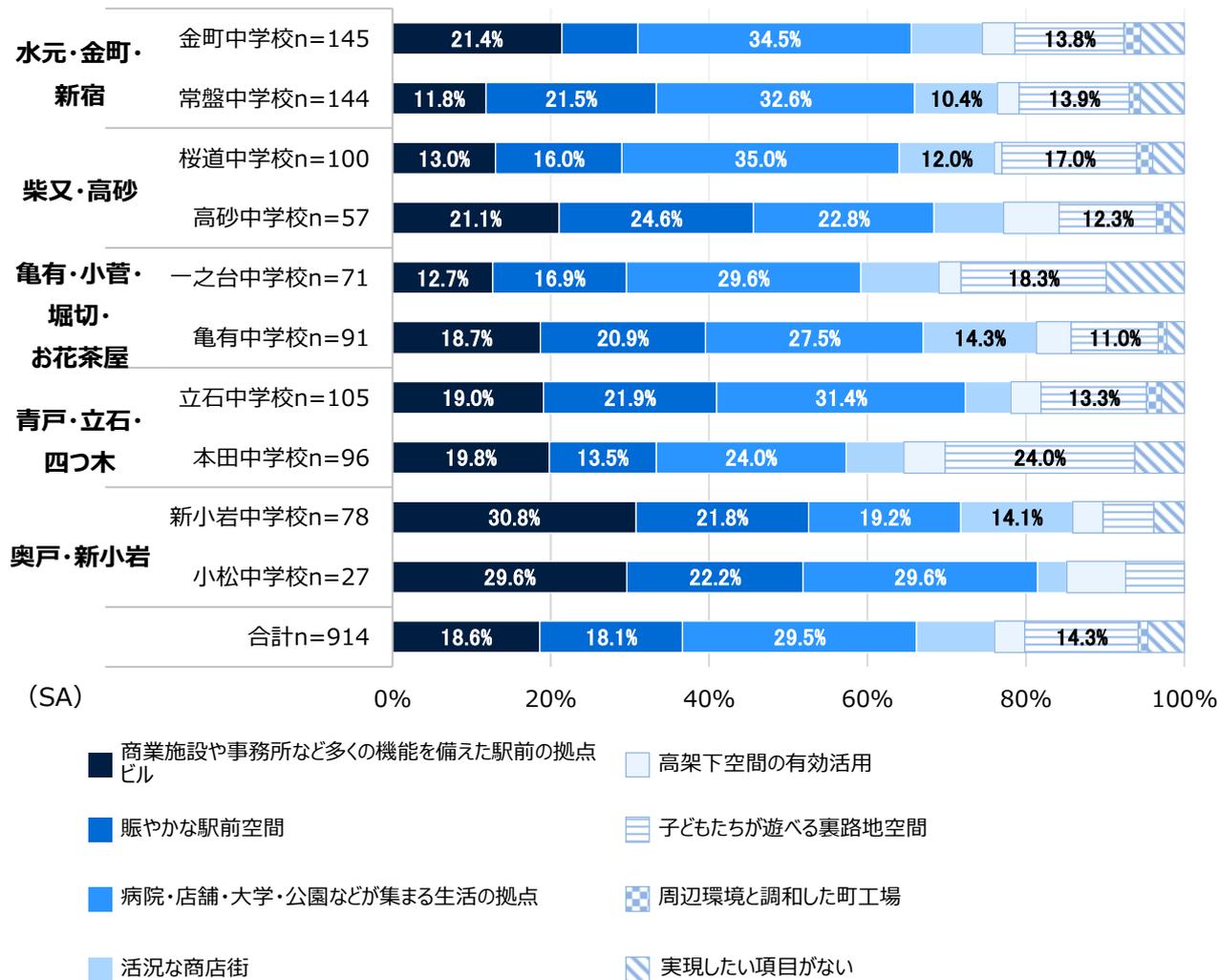
問 5 まちづくりの目標 1「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



○どの学校においても「耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地」を選ぶ生徒の割合が最も大きく、約4割～約5割となっている。
 ○高砂中学校は「水に浸からない高さにある、主要施設や駅まで行ける通路」が合計より10%以上高く、約32%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 6 まちづくりの目標 2「人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）

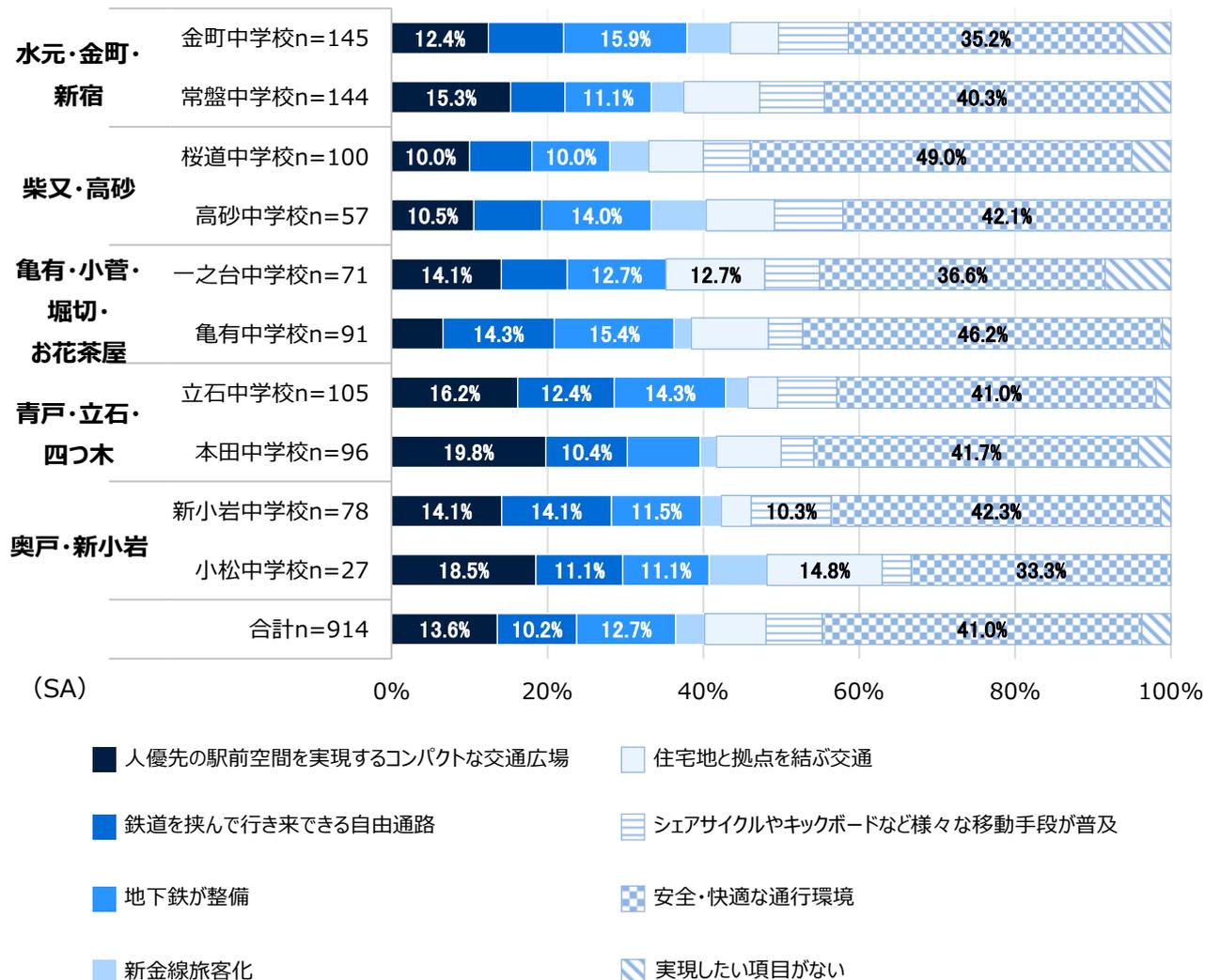


○全体的な傾向として、優先して実現させたい項目として「病院・店舗・大学・公園などが集まる生活の拠点」を挙げる生徒が約2割～約4割となっている。特に金町中学校は約35%、常盤中学校は約33%、桜道中学校は約35%、一之台中学校は約30%、立石中学校は約31%と高くなっている。

○「商業施設や事務所など多くの機能を備えた駅前の拠点ビル」は、奥戸・新小岩地域の2つの中学校ではどちらも約3割と高い。一方、他の地域を見ると、常盤中学校では約12%、一之台中学校では約13%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

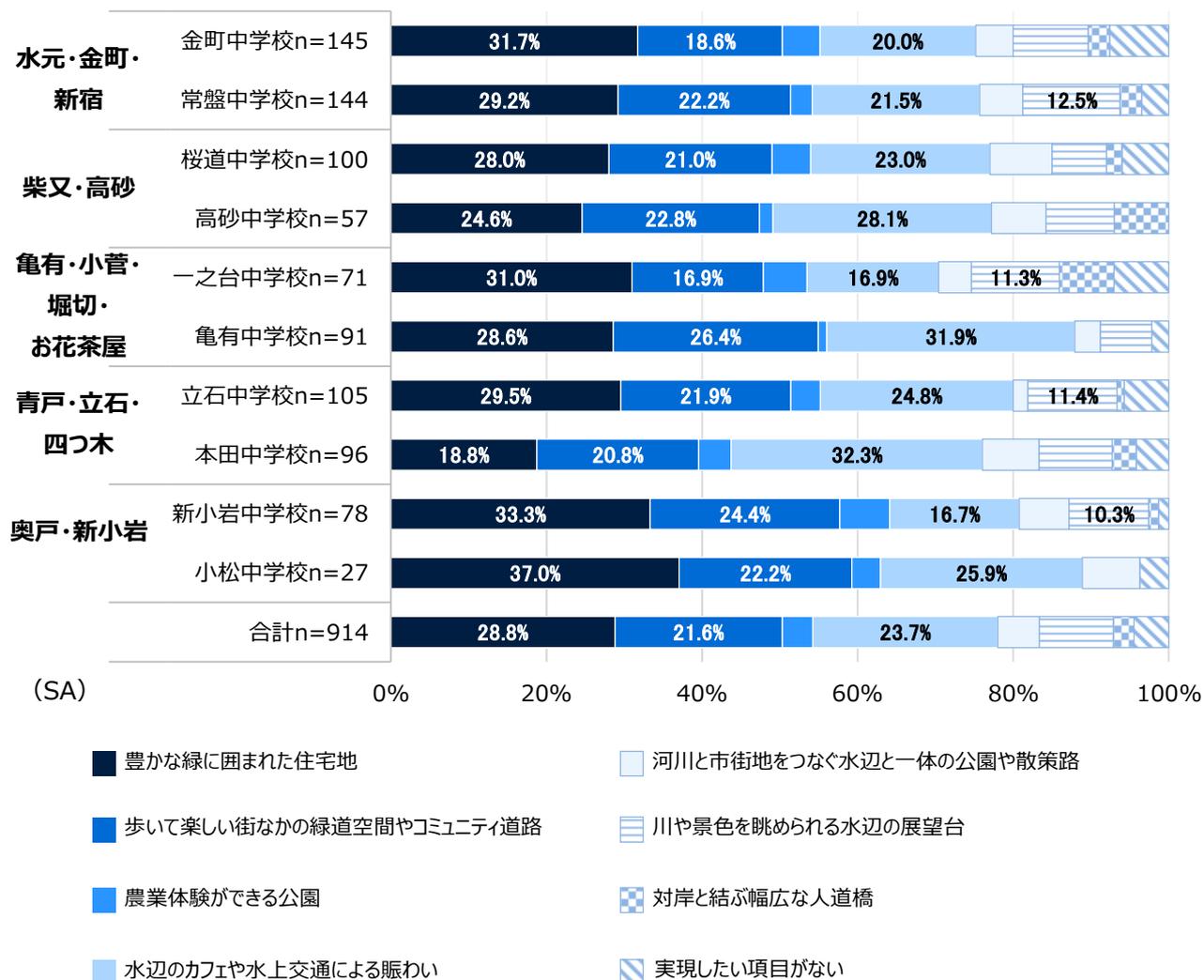
問 7 まちづくりの目標 3「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



○どの学校においても「安全・快適な通行環境」を挙げる生徒は約3割～約5割と高くなっている。
 ○その他の項目を見ると、全体的な傾向として、「人優先の駅前空間を実現するコンパクトな交通広場」が約1割～約2割、「鉄道を挟んで行き来できる自由通路」が約1割、「地下鉄が整備」が約1割～約2割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 8 まちづくりの目標 4「誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



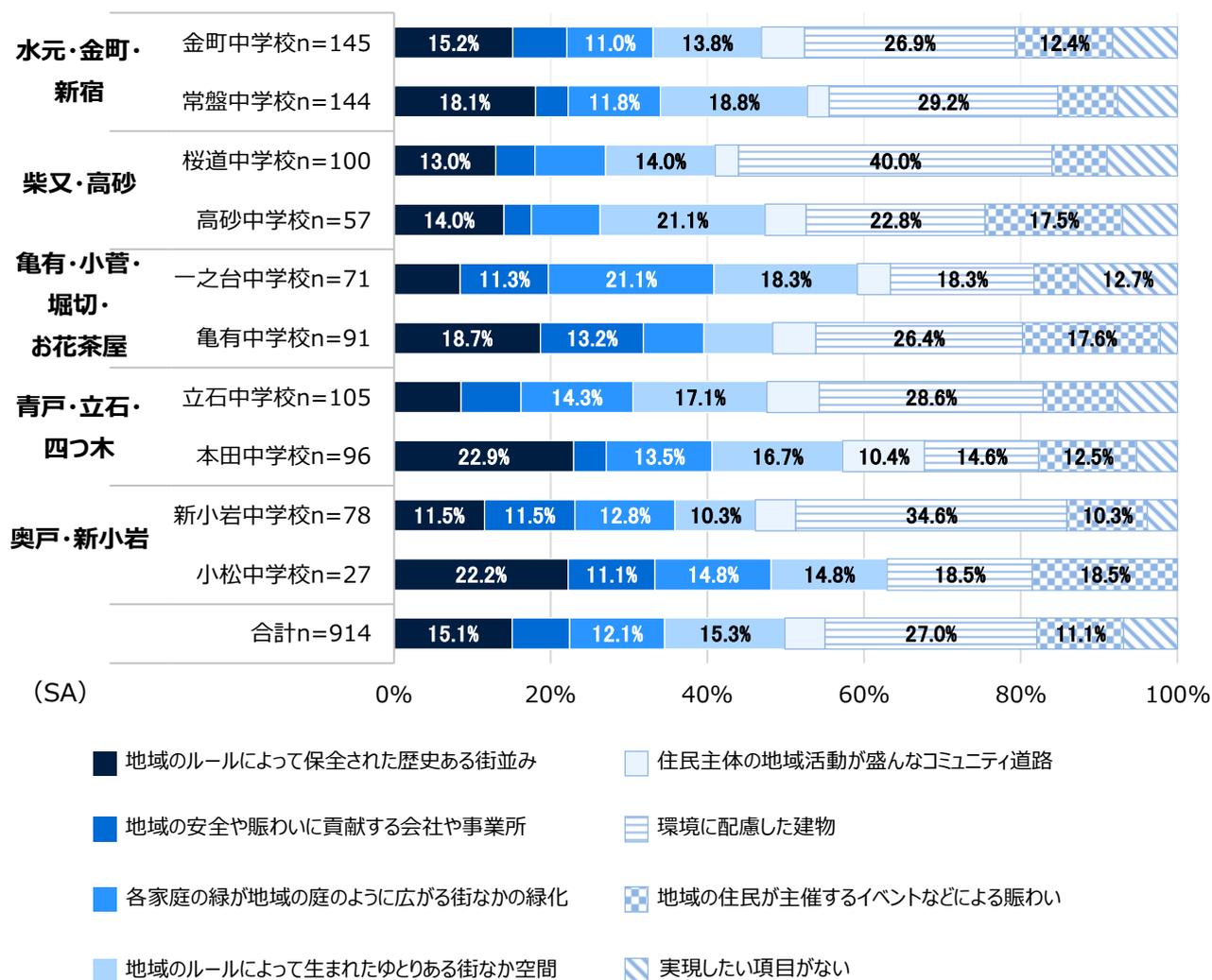
○どの学校においても「豊かな緑に囲まれた住宅地」を挙げる生徒の割合が多く、約2割～約3割となっている。特に奥戸・新小岩地域の2つの中学校は割合が高い（新小岩中学校は約33%、小松中学校は約37%）。

○次いで、どの学校においても「水辺のカフェや水上交通による賑わい」を挙げる生徒が約2割～約3割となっている。特に亀有中学校で約32%、本田中学校で約32%とそれぞれ割合が高い。

○また、「歩いて楽しい街なかの緑道空間やコミュニティ道路」もすべての学校で約2割の生徒から選ばれている。

※10.0%未満の値は表示していない。

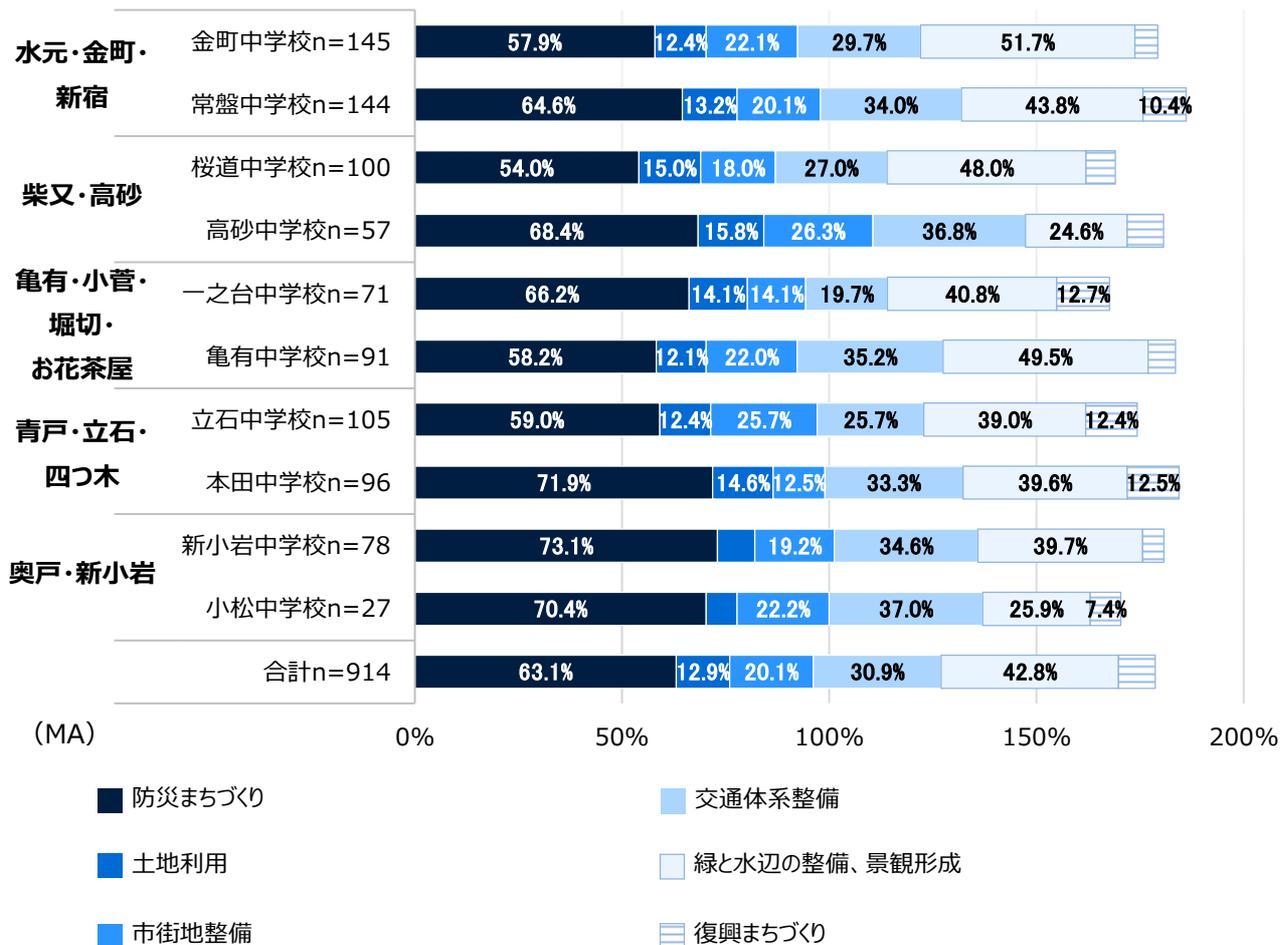
問9 まちづくりの目標5「多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち」のうち、優先して実現させたい項目（1つ選択）



○目標5に関する優先して実現させたい項目は、他の目標の設問に比べて、学校ごとに回答にばらつきが見られる。
 ○全10校のうち7校で「環境に配慮した建物」が最も多くの生徒から選ばれている。具体的には、金町中学校（約27%）、常盤中学校（約29%）、桜道中学校（約40%）、高砂中学校（約23%）、亀有中学校（約26%）、立石中学校（約29%）、新小岩中学校（約35%）である。
 ○一方で、一之台中学校では「各家庭の緑が地域の庭のように広がる街なかの緑化」を選ぶ生徒が最も多く、約21%となっている。
 ○また、本田中学校と小松中学校では「地域のルールによって保全された歴史ある街並み」を選ぶ生徒が多く、それぞれ約23%と約22%となっている。小松中学校では「地域の住民が主催するイベントなどによる賑わい」も同様に多く、約22%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

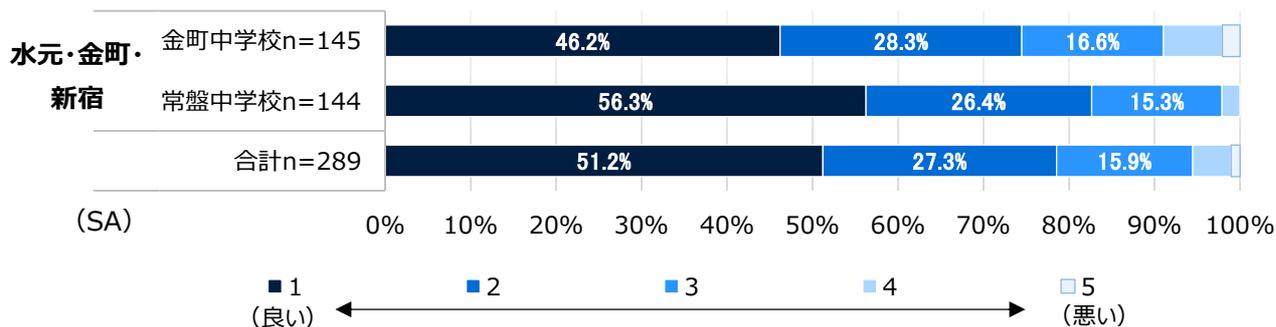
問 10 まちづくりの分野で重要と思うもの（2つまで選択）



- どの学校においても「防災まちづくり」を選ぶ生徒の割合は約5割～約7割と高くなっている。どの学校でも生徒の半数以上が防災まちづくりを重視している。
- 次いで、基本的にどの学校でも「緑と水辺の整備、景観形成」を選ぶ生徒の割合は約3割～約5割と高くなっているが、高砂中学校のみ約25%となっている。
- 次いで、「交通体系整備」を選ぶ生徒の割合も学校に拘わらず約2割～約4割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

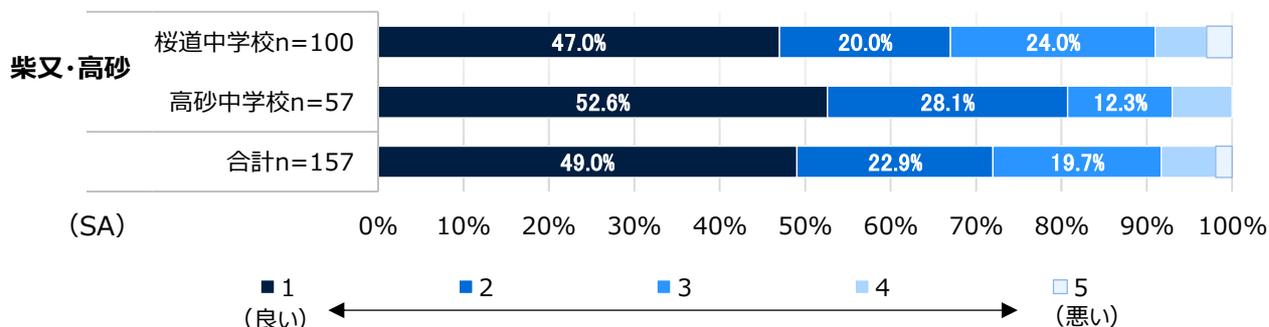
問 12-1 【水元・金町・新宿地域】 将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性が享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



- 2校のどちらでも、最も良い評価の「1」は約5割～約6割と高くなっている。次いで「2」は約3割となっている。
- 最も良い評価の「1」と2番目に良い評価の「2」の合計は、金町中学校で約75%、常盤中学校で約83%となっている。

※金町中学校、常盤中学校のみ回答。
 ※10.0%未満の値は表示していない。

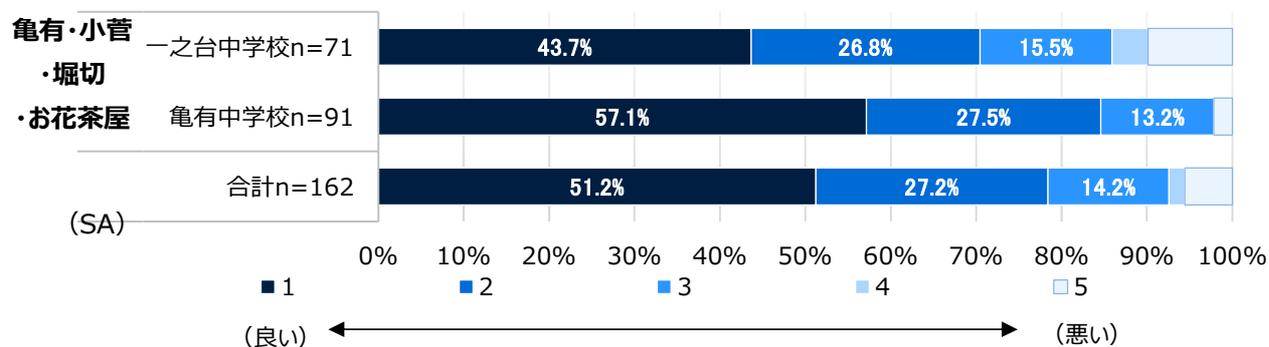
問 12-2 【柴又・高砂地域】 将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



- 2校のどちらでも、最も良い評価の「1」は約5割となっている。
- 最も良い評価の「1」と2番目に良い評価の「2」の合計は、桜道中学校で約67%、高砂中学校で約81%となっている。

※桜道中学校、高砂中学校のみ回答。
 ※10.0%未満の値は表示していない。

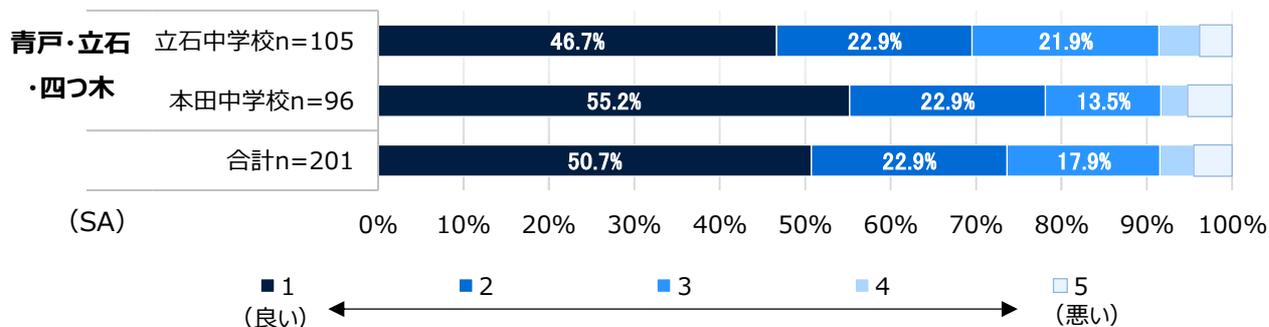
問 12-3 【亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域】将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたいとなる、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



- 2校のどちらでも、最も良い評価の「1」は約4割～約6割と高くなっている。次いで、「2」は約3割となっている。
- 最も良い評価の「1」と2番目に良い評価の「2」の合計は、一之台中学校で約70%、亀有中学校で約85%となっている。

※一之台中学校、亀有中学校のみ回答。
 ※10.0%未満の値は表示していない。

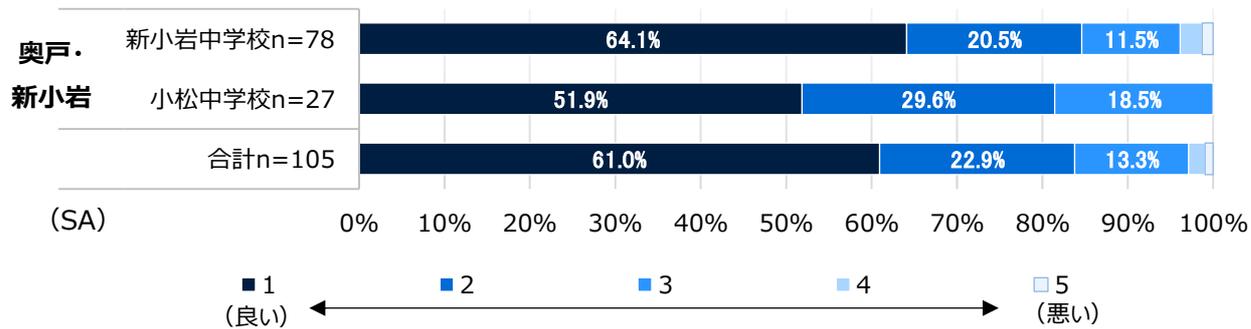
問 12-4 【青戸・立石・四つ木地域】将来像「区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



- 2校のどちらでも、最も良い評価の「1」は約5割～約6割と高くなっている。
- 最も良い評価の「1」と2番目に良い評価の「2」の合計は、立石中学校で約70%、本田中学校で約78%となっている。

※立石中学校、本田中学校のみ回答。
 ※10.0%未満の値は表示していない。

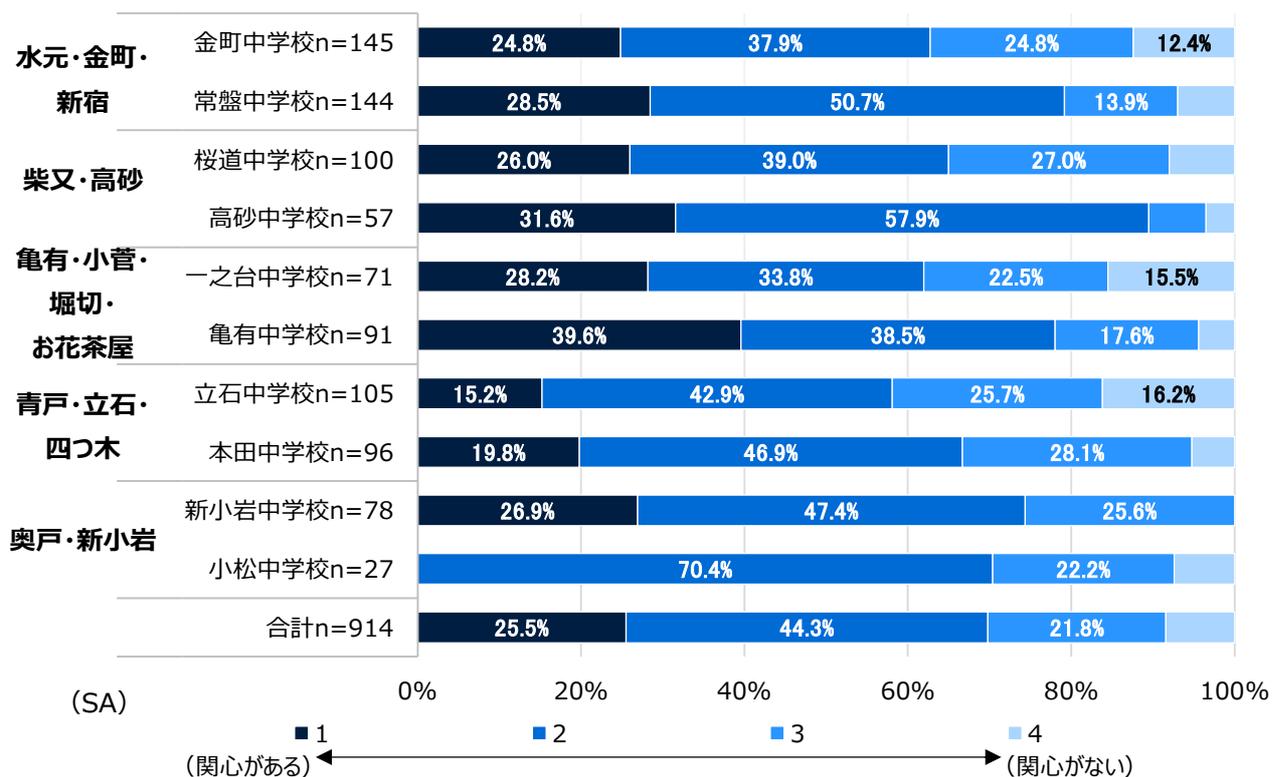
問 12-5 【奥戸・新小岩地域】 将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



○ 2校のどちらでも、最も良い評価の「1」は約5割～約6割と高くなっている。
 ○ 最も良い評価の「1」と2番目に良い評価の「2」の合計は、新小岩中学校で約85%、小松中学校で約82%となっている。

※新小岩中学校、小松中学校のみ回答。
 ※10.0%未満の値は表示していない。

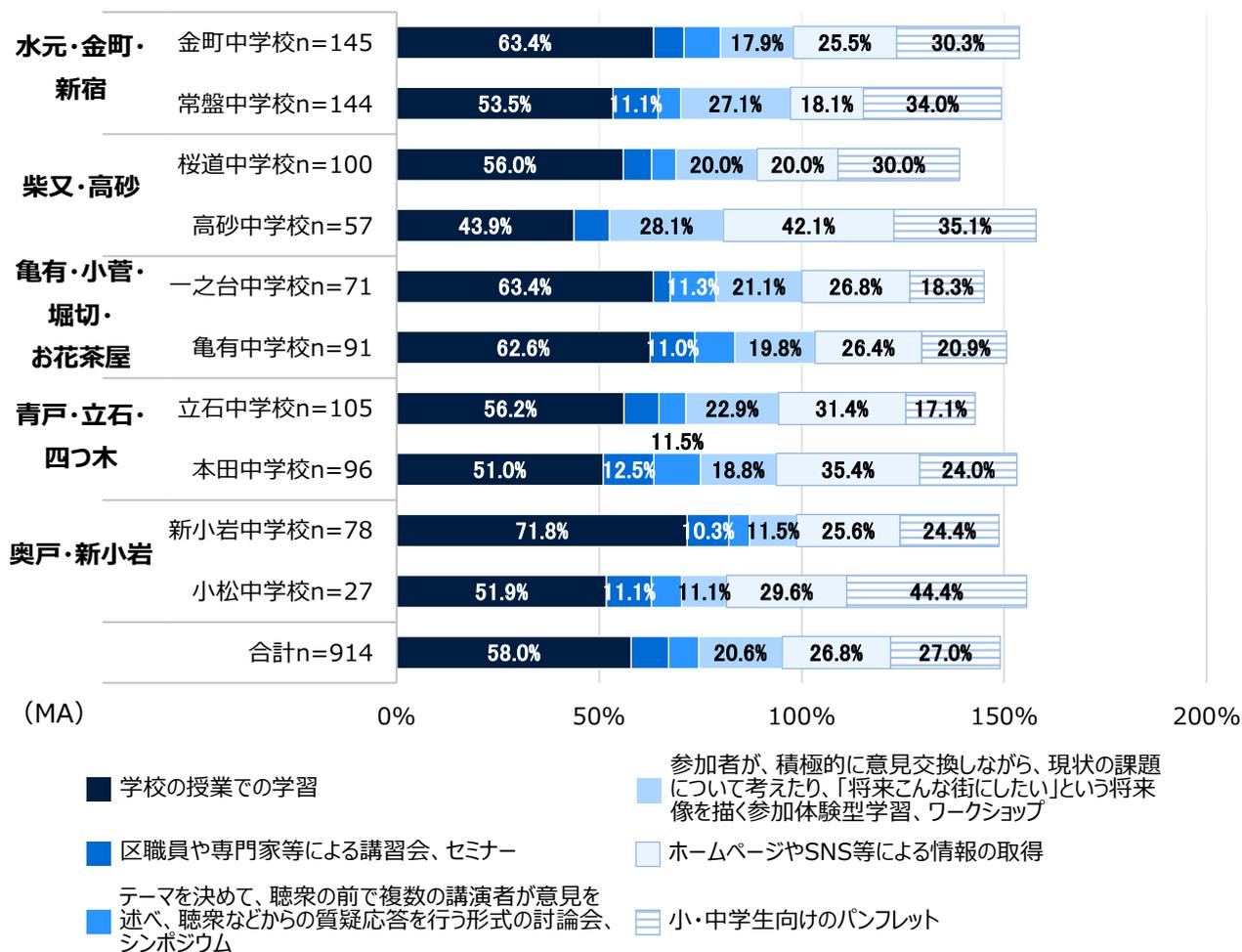
問 14 都市計画やまちづくりへの関心の有無（1つ選択）



- 最も関心が高い「1」と2番目に関心が高い「2」の合計は、どの学校においても約6割～約9割と高くなっている。
- 一方で、最も関心が高い「1」の割合は、学校によってばらつきが見られる。亀有中学校は「1」が合計より10%以上高く、約40%となっている。しかし小松中学校は「1」を選ぶ回答を得られなかった。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 15 都市計画やまちづくりに関しての学びの機会（2 つまで選択）



- どの学校においても「学校の授業での学習」を選ぶ生徒の割合が約4割～約7割と高くなっている。特に新小岩中学校では約72%と高くなっている。
- 次いで、「ホームページやSNS等による情報の取得」が約2割～約4割、「小・中学生向けのパンフレット」が約2割～約4割となっている。
- 「区職員や専門家等による講習会、セミナー」や「テーマを決めて、聴衆の前で複数の講演者が意見を述べ、聴衆などからの質疑応答を行う形式の討論会、シンポジウム」は、ほとんどの学校で10%未満であり、生徒からは選択されにくい傾向が見られる。

※10.0%未満の値は表示していない。

4. 参考資料

4-1. アンケート依頼文・調査票

葛飾区都市計画マスタープラン 中学生アンケート

7月20日（水）までに回答をお願いします。
設問は全部で16問あります。

回答の前に、必ず以下の「都市計画マスタープランの改定について」の動画を見てください。

所要時間は動画視聴を含めて約20分です。

動画は次のURLからも見られます。 ⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=AGdiqBDuytI>

※回答は1人につき1度としてください。

都市計画マスタープランの改定について

葛飾区都市計画マスタープ...



次へ

フォームをクリア

葛飾らしさについて

Q1. 将来にわたって残したい葛飾らしさはどれですか？（3つまで選択可）*

- 下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん
- バスや鉄道等の公共交通が充実
- 公園・緑地、みどりが豊かなまち
- 河川等の水辺空間、親水空間
- 買い物に便利
- 閑静で落ち着いた住宅地
- 寺社仏閣
- スポーツ施設
- 裏路地で遊ぶ子どもたち
- 生活の場と働く場が近くにある町工場
- 昭和感が残る個人商店や飲み屋街
- 人の目線の高さ、ヒューマンスケールに配慮した街並み
- 平坦で自転車利用が多い
- その他: _____

戻る

次へ

フォームをクリア

将来住みたい場所について

Q2. 将来住みたい場所の条件はどれですか？（2つまで選択可）*

- 下町人情あふれ住民参加や地域交流が盛んなまち
- バスや鉄道等の公共交通が充実したまち
- 自動車・歩行者・自転車が安心・安全に通行できるまち
- 水辺や公園、みどりが豊かなまち
- 駅前や身近な商店街に賑わいや活気があるまち
- 買い物に便利なまち
- 閑静で落ち着いた住宅地があるまち
- 地域の特性を活かした良好な街並みや景観が形成されたまち
- 地震や水害に強いまち
- テレワークの普及により、在宅や自宅近くでの勤務が一般的になり、平日の昼間でも人出が多く、賑やかなまち
- 人口密度の低下により、庭付きの住宅やまちなかの広場が増え、ゆとりのあるまち
- 自動運転技術の発展により、誰もが自由に移動しやすくなるまち
- その他: _____

Q3. 将来住みたい市区町村はどこですか？（1つ選択）*

- 葛飾区内
- 葛飾区外の23区内
- 23区外の東京都内
- 東京都以外

Q4. Q3で回答した市区町村を選んだ理由は何ですか？*

回答を入力

戻る

次へ

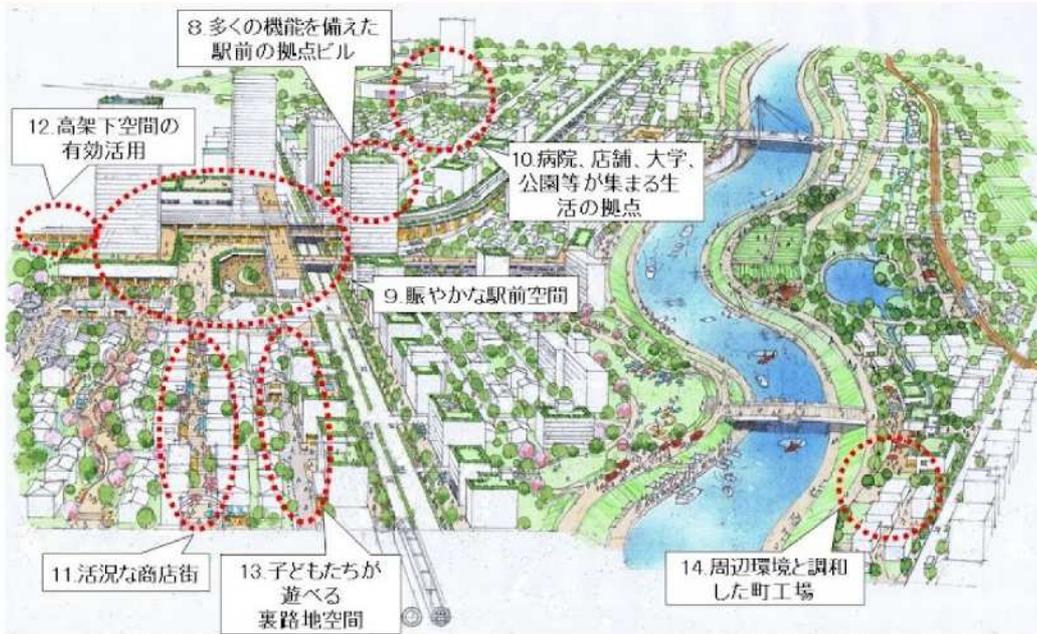
フォームをクリア

Q5.まちづくりの目標1「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」*のうち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択）



- 1.耐震性に優れ、火災が起きても燃え広がらない地震に強い住宅地
- 2.市街地の延焼を防止する広い道路と道路沿いの不燃化された建物
- 3.水に浸からない高さにある、主要施設や駅まで行ける通路
- 4.水害時、緊急避難できる拠点高台
- 5.高台化されて、浸水しづらい市街地
- 6.豪雨時に市街地の雨水を一時貯留・浸透させる公園内の窪地
- 7.日頃から災害に対応するための様々な訓練を実施
- 実現したい項目がない

Q6.まちづくりの目標2「人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち」の*うち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択）



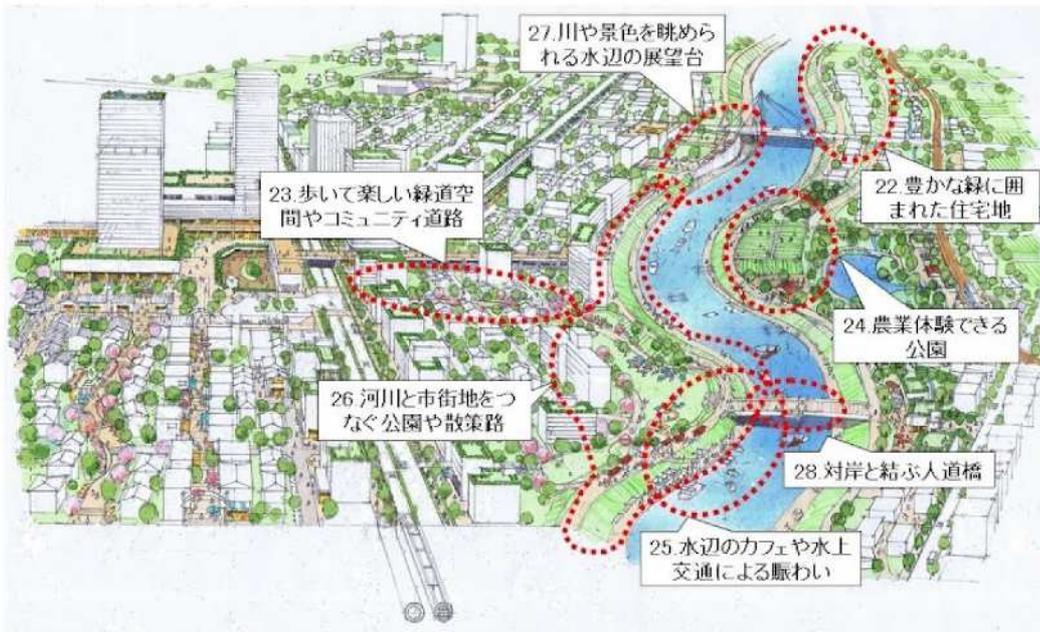
- 8.商業施設や事務所など多くの機能を備えた駅前の拠点ビル
- 9.賑やかな駅前空間
- 10.病院・店舗・大学・公園などが集まる生活の拠点
- 11.活況な商店街
- 12.高架下空間の有効活用
- 13.子どもたちが遊べる裏路地空間
- 14.周辺環境と調和した町工場
- 実現したい項目がない

Q7.まちづくりの目標3「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」の*
うち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択）



- 15.人優先の駅前空間を実現するコンパクトな交通広場
- 16.鉄道を挟んで行き来できる自由通路
- 17.地下鉄が整備
- 18.新金線旅客化
- 19.住宅地と拠点を結ぶ交通
- 20.シェアサイクルやキックボードなど様々な移動手段が普及
- 21.安全・快適な通行環境
- 実現したい項目がない

Q8.まちづくりの目標4「誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち」のうち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択）



- 22.豊かな緑に囲まれた住宅地
- 23.歩いて楽しい街なかの緑道空間やコミュニティ道路
- 24.農業体験ができる公園
- 25.水辺のカフェや水上交通による賑わい
- 26.河川と市街地をつなぐ水辺と一体の公園や散策路
- 27.川や景色を眺められる水辺の展望台
- 28.対岸と結ぶ幅広な人道橋
- 実現したい項目がない

Q9.まちづくりの目標5「多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち」のうち、優先して実現させたい項目はどれですか？（1つ選択） *



- 29.地域のルールによって保全された歴史ある街並み
- 30.地域の安全や賑わいに貢献する会社や事業所
- 31.各家庭の緑が地域の庭のように広がる街なかの緑化
- 32.地域のルールによって生まれたゆとりある街なか空間
- 33.住民主体の地域活動が盛んなコミュニティ道路
- 34.環境に配慮した建物
- 35.地域の住民が主催するイベントなどによる賑わい
- 実現したい項目がない

戻る

次へ

フォームをクリア

Q10.まちづくりの分野で重要と思うものはどれですか？（2つまで選択可）*



浸水対応型市街地の形成

防災まちづくり



計画的な土地利用の誘導

土地利用



質の高い市街地開発の推進

市街地整備



道路と鉄道の立体交差化

交通体系整備



魅力ある公園の整備

緑と水辺の整備、景観形成



迅速な復興を実現するための事前準備

復興まちづくり

戻る

次へ

フォームをクリア

葛飾区都市計画マスタープラン（地域別構想）について

Q11.あなたが通っている学校はどこですか？ *

- 金町中学校
- 常盤中学校
- 一之台中学校
- 亀有中学校
- 桜道中学校
- 高砂中学校
- 立石中学校
- 本田中学校
- 新小岩中学校
- 小松中学校

戻る

次へ

フォームをクリア

水元・金町・新宿地域の将来像について

Q12.将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性が享受できる住み良いまち」についてどう思いますか？（1つ選択）

1 2 3 4 5
良い ○ ○ ○ ○ ○ 悪い

Q13.Q12で回答した理由を教えてください*

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像について

Q12.将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたいなる、自然と歴史を残すふるさとのまち」についてどう思いますか？（1つ選択）

1 2 3 4 5
良い ○ ○ ○ ○ ○ 悪い

Q13.Q12で回答した理由を教えてください*

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

柴又・高砂地域の将来像について

Q12.将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある * 多世代が暮らしたくなる水辺のまち」についてどう思いますか？（1つ選択）

良い 1 2 3 4 5 悪い

Q13.Q12で回答した理由を教えてください *

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

青戸・立石・四つ木地域の将来像について

Q12.将来像「区の中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々 * な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」についてどう思いますか？（1つ選択）

良い 1 2 3 4 5 悪い

Q13.Q12で回答した理由を教えてください *

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

奥戸・新小岩地域の将来像について

Q12.将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」についてどう思いますか？（1つ選択）*

良い 1 2 3 4 5 悪い

Q13.Q12で回答した理由を教えてください*

回答を入力

戻る

次へ

フォームをクリア

都市計画やまちづくりへの関心について

Q14.都市計画やまちづくりへの関心はありますか？（関心の度合を1つ選択）*

	1	2	3	4	
関心がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関心がない

Q15.都市計画やまちづくりに関して、どのような学びの機会を期待しますか？*
（2つまで選択可）

- 学校の授業での学習
- 区職員や専門家等による講習会、セミナー
- テーマを決めて、聴衆の前で複数の講演者が意見を述べ、聴衆などからの質疑応答を行う形式の討論会、シンポジウム
- 参加者が、積極的に意見交換しながら、現状の課題について考えたり、「将来こんな街にしたい」という将来像を描く参加体験型学習、ワークショップ
- ホームページやSNS等による情報の取得
- 小・中学生向けのパンフレット
- その他: _____

Q16.葛飾区都市計画マスタープランの改定についての動画をみて、感想や意見があれば記述してください（任意）

回答を入力

戻る

送信

フォームをクリア

4-2. 自由記入欄の整理

各設問の自由記入欄を抜粋・要約した。

- ⇒：複数見受けられる意見のうち、他の設問で是非や需要度を聞いていない、素案にない事項等
- ：特徴的な項目等

問1 将来にわたって残したい葛飾らしさ【その他記入欄】

⇒都市と自然のバランスがとれたこのままの葛飾

問2 将来住みたい場所の条件【その他記入欄】

- ⇒自然豊かなまち
- ⇒スポーツ施設のあるまち
- 災害に強いまち

問4 問3で回答した理由（自由記述）

1. 葛飾区内を選んだ理由

- ⇒葛飾区が好き
- ⇒緑、自然が多い
- ⇒住み慣れているから
- ⇒水元公園がある

3. 23区外の東京都内を選んだ理由

- ⇒東京には住みたい
- ⇒交通網や施設などが充実している都内に住みたい
- ⇒便利そう
- ⇒働きたい所や行きたい学校が都内にある

2. 葛飾区外の23区内を選んだ理由

- ⇒葛飾区の外を見てみたい
- ⇒発展している都心に住みたいから
- ⇒買い物施設、お店が多い
- ⇒便利で発展している

4. 東京都以外を選んだ理由

- ⇒自然が多く、人（人口密度）が少ない、静かで広い場所に住みたい
- ⇒海外に住みたい

問13-1 【水元・金町・新宿地域】問12で回答した理由【自由記述】

1~3..良い、普通を選んだ理由

- ⇒自然環境や緑は重要
- ⇒賑わいがあり便利なまちになってほしい

4~5.悪いを選んだ理由

- 自然があまりない
- 安全な街に住みたい

問13-2 【柴又・高砂地域】問12で回答した理由【自由記述】

1~3..良い、普通を選んだ理由

- ⇒水辺や緑は好きだから
- ⇒昔ながら、歴史的景観資源を残していきたい
- ⇒賑わいのある街にしていきたい
- ⇒多世代が暮らせるまち

4~5.悪いを選んだ理由

- 防災に対する対策をもっとしてほしい

問13-3 【亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域】問12で回答した理由【自由記述】

1~3..良い、普通を選んだ理由

- ⇒自然・歴史、ふるさとを大切にしたい
- ⇒安全で、快適に住み続けたいまちにしていきたい
- ⇒若い人も、年寄りにも住みやすい世代を越えた地域になってほしい

4~5.悪いを選んだ理由

- ふれあいがあってもよいと思う

問 13-4【青戸・立石・四つ木地域】 問 12 で回答した理由【自由記述】

1～3..良い、普通を選んだ理由	4～5.悪いを選んだ理由
⇒自然、緑や水を大切にしたい	→あまり活気にあふれていない、若い世代が遊べる
⇒様々な世帯が安全で、快適に過ごしたい	施設がない
	→開発で街並みを崩したくない

問 13-5【奥戸・新小岩地域】 問 12 で回答した理由【自由記述】

1～3..良い、普通を選んだ理由	4～5.悪いを選んだ理由
⇒災害に強く安全なまちにしたい	→世代間交流をしようと思わない
⇒緑が充実したまちは良いこと	
⇒世代間交流は大切にしたい	

問 16 都市計画マスタープラン改定の動画を視聴した後の感想や意見【自由記述】

⇒葛飾区の計画を知り、町がどう変わっていくのか楽しみ
⇒葛飾区のために計画を考えてくれるのがうれしい
⇒都市開発が進んでも緑や自然を残してほしい
⇒動画が長い、言葉が難しい、シンプルな字幕が欲しい
⇒ナレーションのスピード感がない、声が小さい

	合計件数	割合
意見・感想・疑問	235	67%
都市計画に関連する要望・提案	22	6%
アンケートや周知など伝え方に関連する意見	29	8%
その他	13	4%
特になし	51	15%
合計	350	100%

		意見・感想・疑問	都市計画に関連する要望・提案	アンケートや周知など伝え方に関連する意見	その他	特になし	合計件数	割合
水元・金町・新宿	金町中学校	26	1	3	2	8	40	11%
	常盤中学校	48	6	5	1	3	63	18%
柴又・高砂	桜道中学校	18	3	1	3	7	32	9%
	高砂中学校	14	5	2	0	1	22	6%
亀有・小菅・堀切・お花茶屋	一之台中学校	22	1	0	3	4	30	9%
	亀有中学校	30	3	7	1	7	48	14%
青戸・立石・四つ木	立石中学校	36	3	3	0	4	46	13%
	本田中学校	27	0	5	2	4	38	11%
奥戸・新小岩	新小岩中学校	9	0	3	1	9	22	6%
	小松中学校	5	0	0	0	4	9	3%
合計		235	22	29	13	51	350	100%

葛飾区中学生アンケート調査報告書

令和4年10月発行

発行：葛飾区 都市整備部 都市計画課

〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1

電話：03-6657-6583